

国語力とは、

(論理的思考力)

ろんりてきしこうりよく

である。

論理的思考力とは、

(整理力)

(単純化力) である。

たんじゆんかりよく

「3つの力」とは、

- (言いかえる力)
- (くらべる力)
- (たどる力)

である。

「3つの関係」とは、

- (同等関係)
- (対比関係)
- (因果関係)

である。

どうとうかんけい たいひかんけい いんがかんけい

言いかえる力

くらべる力

たどる力

話す力

書く力

発信力

受信力

聞く力

読む力

同等関係 整理力

対比関係 整理力

因果関係 整理力

話す力

書く力

発信力

受信力

聞く力

読む力

同等関係とは、
（ 抽象 ）と
（ 具体 ）の関係
のことである。

どうとうかんけいとは、ちゅうしょうと ぐたいの かんけい のことである。

絵にかきやすい表現
に言いかえるのは、

具体化

である。

絵にかきづらい表現
に言いかえるのは、

抽象化

である。

対比関係 2つのポイント

1……バランス

対比のバランスとは
まず**パーツの数**
次に**抽象度**

2……観点の統一

せつもん

読解の設問には3つある。

(言いかえる設問)

(くらべる設問)

(たどる設問)

である。

「どういうことですか」
「どのような意味ですか」
「分かりやすく説明しなさい」
などというのは、

(言いかえる) 設問。

「どう違うのですか」
「相違点を述べなさい」

そいいてんを のべなさい

などというのは、

(**くらべる**) 設問。

「なぜですか」
「理由を説明しなさい」
などというのは、

(たどる) 設問。

〈違い〉の型は、
アはAだが、イはB。
アはAではなくB。

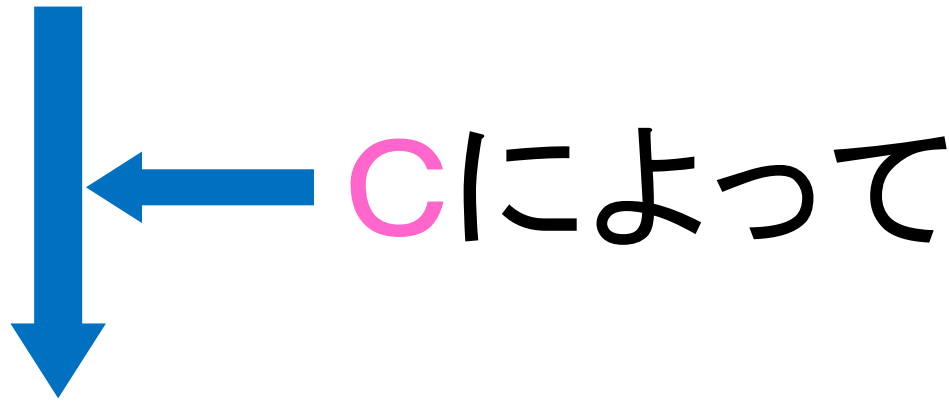
AとBには、
反対語・否定表現
が入る。

たいひてき しんじょうへんか

対比的な心情変化

(aに対して)

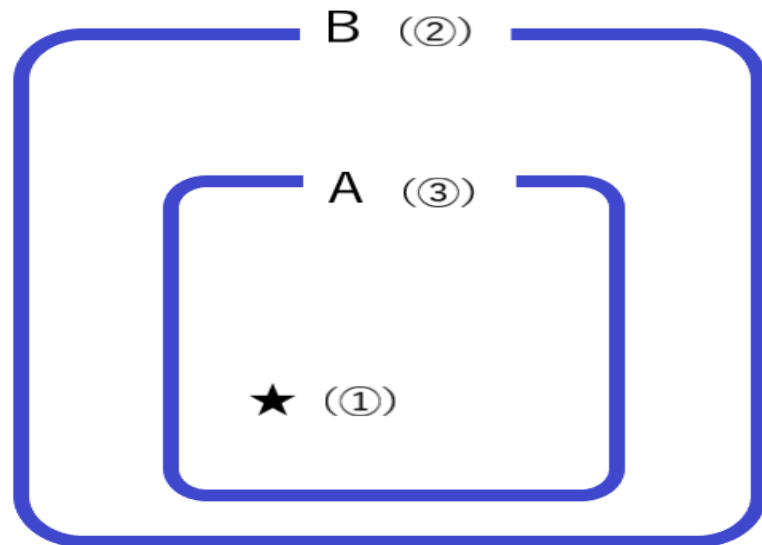
Aだった主人公が



Bに変わる話。

問い:「①は②である」と
言えるのはなぜか。

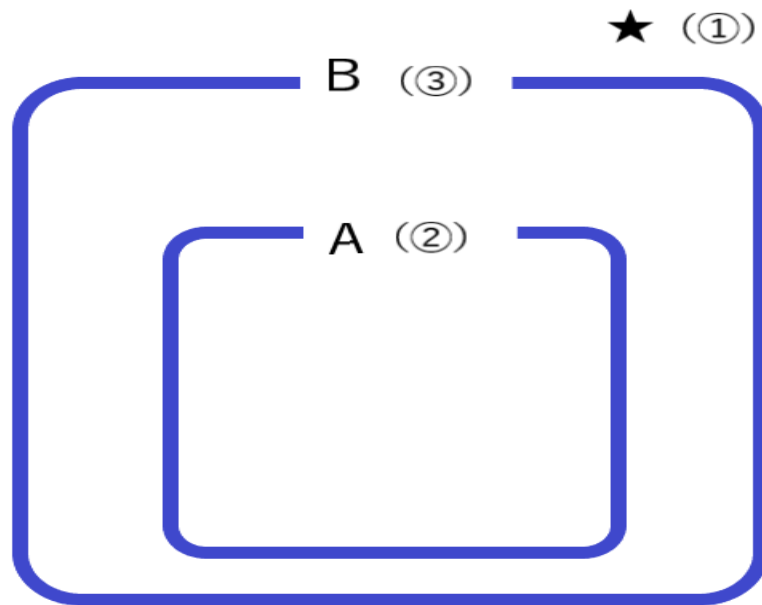
答え:①は③であり、
③ならば②だから。



ぜんけん こうてい
前件肯定
パターン

問い:「①は②でない」と
言えるのはなぜか。

答え:②ならば③だが、
①は③ではないから。



こうけん ひてい
後件否定
パターン

7つの観点とは

時間 空間 自他

心理 五感

目的手段 プラスマイナス

もくてき しゅだん

200字メソッド

アは 1 のため A である。

しかし、イは 2 のため B である。

だから、アよりも イのほう
C であると言える。

逆説型短作文

アは(1なため)Aである。

しかし実際には、アはBである。

というのも、2だからである。